あけましておめでとうございます 旧年中は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございました 本年もよろしくお願いいたします

お正月休みの最終日に、昨年5月のお手紙でお話した『一言主神社』と『高鴨神社』を参拝しました。

まずは、近鉄御所駅から10:15のコミュニティバスにのって、葛城一言主神社へ。こちらは全国にある一言主神社の総本社です。

バスの運転手さん曰く、お正月三が日は人も車もすごく混み合っていたそうですが、ゆっくりとお詣りすることができました。

雄略天皇が大和の葛城山へ鹿狩に行った時、「吾は悪事も一言、善事も一言、言い離つ神。葛城の一言主の大神なり(私は、悪いことも一言、良いことも一言で言い放つ神。葛城の一言主の大神である)」と名のる神に出会ったことが始まりです。そのことから、一言だけの願いをかなえてくれる神様として知られています。冬至の二日前から節分までの間にしか手に入らない「一陽来復(いちようらいふく)お守り」を頂いてきました。

ここから、高鴨神社までの移動手段をしっかり調べていませんでした。来た時と同じコミュニティバスに乗ればいけるのですが、まだ3時間以上あります。 心はすっかり、テレビ東京で人気の「路線バスの旅」の気分です。どこかに近鉄バスも走っているはずと、近くのローソンでバス停を教えていただき、20分程歩いて近鉄バスに乗車しました。

このバスは「日本一距離の長い路線バス」で、奈良の八木から和歌山の新宮まで全長 166.9km をつないでいます。私が乗車したのはほんの 6 キロで、あっという間に到着。しばらく歩くと赤い鳥居と鎮守の杜がみえてきました。

こちらの高鴨神社は全国の鴨・賀茂・加茂と名の付く神社の総本社で、京都の 上賀茂神社や下鴨神社の神様もここが大元です。縄文時代最晩期から弥生時代 前期頃には最初の神殿が造営されたといわれているそうです。

まだ新しい拝殿の前に、折れた柱や笠木を鉄でつないで補強した古い石の鳥居がありました。大切にされているのだとしみじみ感じました。

再びバスと電車を乗り継いで、次は橿原神宮へ。日本の初代天皇・神武天皇が御祭神です。有名なだけのことはあって、三が日をすぎてもまだ多くの参拝客が来られていました。元旦から5日までは特別に内拝殿から参拝させていただくことができます。榊をお供えしてお詣りさせていただきました。

何方も「ルーツになる神様」にお会いできて、有難い一日となりました。

皆さまの一年も、幸せと豊かさで満ち溢れますようにお祈りいたします。 今年の冬は、暖冬のままで春を迎える予報だそうです。そうはいっても、急に 寒い日がくると体がびっくりしますね。皆さまも充分ご自愛くださいませ。



葛城 一言主神社



高鴨神社



高鴨神社 拝殿



橿原神宮

今月も最後まで読んで頂きまして、ありが とうございました。 来月もよろしくお願いいたします。